



未来を創る はじまりの仕事。

私たちの暮らしに

欠かすことのできない測量と地図。

だから私は、この仕事で社会を支える。

測って、描いて、解決する。測量と地図。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情複、第93号)

広報推進協議会(測量・地図作成分野)

測量の役割や重要性等について、多くの皆様にご理解いただき、関心を持って頂くために2015年に発足した団体です。測量に携わる産学官の関係者が一体となって取り組みの推進を図っています。

- (一社)全国測量設計業協会連合会
- (一財)測量専門教育センター
- (一社)地図調製技術協会
- (公社)日本測量協会
- (公財)日本測量調査技術協会
- (一財)日本地図センター
- 国土交通省国土地理院





測量・地図作成の仕事

国土を適切に管理し保全することは、国家が存立する上で欠くことのできない要素の1つです。また、国土の姿を適切に捉えることができ初めて、様々なインフラの整備や、これに根ざした社会経済活動が可能になります。

国土の姿を捉えるためには、測量をはじめとする「国土を測る」活動が必要です。「国土を測る」活動は、社会経済活動の基礎的な情報基盤を整備するために広く実施されており、国や地方公共団体が行う公共事業に限らず、民間による開発や個人の

資産管理など、様々な場面でに行われています。また、測量により作成される地図は、日常生活の中で当たり前のように利用されています。

このように測量や地図を作成する仕事は、国土やその上に構築されている様々な社会インフラの位置、形状などを測定し記録するという、我が国の社会経済活動のための基礎的な情報基盤を整備する重要な役割を担っています。

広がる仕事の世界 ～先輩からの一言～



測量技術者の仕事は、着目する場所の位置を正確に「測る」こと、測った位置を地図やカーナビなどに加工する「描く」こと、そして、位置情報を知る最新技術と地理空間情報を用いた自動

運転支援、防災・減災支援、マーケティング支援に係わる問題を「解決する」ことまで、様々な分野に広がっています。

それぞれの仕事に携わる先輩方の一言を紹介します。

測る



鳴海 園佳
東日本総計画(株)

トータルステーションや地上レーザスキャナを用いて地形・地物を測り、現況平面図・縦横断面図の作成や三次元モデルの作成業務に携わっています。図面が出来上がった時の達成感は格別です。また、UAVの飛行訓練を受け、飛行許可の承認も受けました。新しい機器を扱うことが多く覚えることが大変ですが、やりがいのある仕事なので頑張ります。

描く



安齋 翔次郎
アジア航測(株)

国や地方公共団体が管理する区域を高解像度の空中写真から図化し、現況把握等を目的とした数値地形図作成を担当しています。作成したデータは当該地域の利用以外に、国土地理院が公開している基盤地図情報としても活用されます。多くの方に利用されるデータを提供できることがこの仕事の魅力だと感じています。

解決する



峯野 香織
(株)パスコ

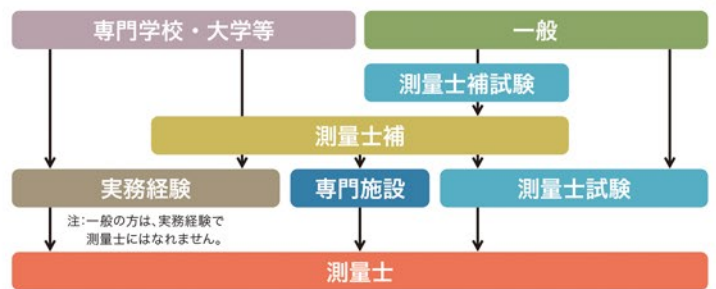
市町村向けに、固定資産税評価額に関する資料整備とコンサルティング業務を担当しています。地番図(課税の基礎となる図面)や空中写真など、測量により整備された地理空間情報を活用することで、市町村が抱える課題の分析と解決に向けた支援を行っています。一見すると無関係に思える税金と測量ですが、地理空間情報は様々な場面で役立っています。

測量士になるには



測量の国家資格(測量士・測量士補)は測量法で規定されています。

測量士・測量士補になるには右の図のような方法があります。そのなかでも測量専門学校や認定を受けた大学を卒業して、測量士補の資格を取得後、実務経験を経て測量士となるケースが大多数となっています。



測量士の活躍分野



測量士になった後は、測量に従事して経験を積んでいきます。測量には国や公共機関が行う測量と民間企業が行う測量があります。

技術士や他の資格などを活用し、測量と他の分野とを組み合わせた高度なサービスを提供する技術者もいます。長じては管理職や企業経営者として測量に携わる人もいます。更には、大学や学校の教員や研究者として後進を指導したり新技術を開発する人、公務員として測量の実務に就く人もいます。

また、測量士ならではのセンスを生かして、計測分野のみならずコンサルティングやマーケティングなどの分野でも活躍しています。

